

きょうと生物多様性パートナーシップ協定を締結 ～生物多様性保全事業への支援～

公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金（所在地：京都市右京区、理事長：齋藤成雄、以下 当基金）は、10月4日に京都府および京都市、きょうと生物多様性センター運営協議会と「きょうと生物多様性パートナーシップ協定」を締結しました。また、協定に則し、同日京都府公館（旧知事公舎、京都市上京区）にて締結式が執り行われ、理事長の齋藤より寄付金の目録を贈呈しました。

京都府・京都市では、府市協働による「きょうと生物多様性センター」を2023年4月に設置され、生物多様性の保全等に関心を持つ企業と、京都府域で生物多様性保全活動を行う団体とのマッチングを行う「きょうと生物多様性パートナーシップ協定制度」に取り組みされており、当基金はその第1号となります。

初年度は、きょうと生物多様性センター運営協議会を通じて、京丹後市にある琴引浜の鳴き砂の保全活動をされている団体への支援を予定しています。国の天然記念物および名勝に指定されている琴引浜では、浜辺の清掃や流入河川の水質調査・水質浄化、浜辺の背後地の植林などの活動を実施されています。府内では珍しい海域と陸域の境界に位置する海浜生態系であるため、そのような特殊な環境に生息する希少な生き物が保全されています。当基金では、団体への資金提供に加えて、日新電機グループの従業員やその家族によるボランティアを募り、保全活動への参加を予定しています。

日新電機グループでは、ネイチャーポジティブの実現に向け、これまでも京都の文化にゆかりのある植物や希少植物の保全を進めてきました。本社工場（京都市右京区）、日新アカデミー研修センター（京都市右京区）、久世工場（京都市南区）の3か所では、いずれも京都市の「京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度」の認定を受けています。

当基金は、これからも地域の環境保全活動に、より一層協力していきます。



協定締結式

（左から門川京都市長、湯本きょうと生物多様性センター運営協議会会長、齋藤当基金理事長、西脇京都府知事）



琴引浜（提供：琴引浜鳴き砂文化館）

以上

[本件に関するお問い合わせ]

公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金 事務局 E-mail : sczaidan@nissin.co.jp